

財団法人ソニー音楽芸術振興会

平成 21 年度 事業計画書

(2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)

I. 方針

当財団の平成 21 年度事業は、過去 24 年間の実績を基に、より積極的な活動を多角的に展開することによって一層社会的評価を高めるべく努力致す所存です。また、当年度もソニー株式会社、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント等から寄付金を受ける予定です。

Ⅱ. 事業

1. 国際的フェスティバル、コンクール等の開催及び協力

(1) 「第9回 国際オーボエコンクール・軽井沢」の開催 【一般事業】

3年に1度開催の「国際オーボエコンクール」、前回の第8回から開催地を軽井沢大賀ホールに移して行われていますが、2009年、第9回を開催致します。

審査委員長には、元ベルリン・フィル首席で世界的なオーボエ奏者であるハンス・イェルク・シェレンベルガーを迎え、他にもモーリス・ブルグ、ゴードン・ハント、デイヴィッド・シフリン、小畑善昭、霧生吉秀、古部賢一といった世界でもトップクラスの奏者が審査員として名を連ねます。

【日程及び会場】

2009年6月2日～4日 予備審査（テープ審査、都内）

2009年10月10日～18日 コンクール開催（軽井沢大賀ホール）

2. 音楽、オペラ、舞踊等の創造開発及び協力

(1) 子どもたちの感性を高めるプロジェクト

【1】子どもたちに贈るスペシャル・コンサートシリーズ～vol. 6

【公演事業】

2004年より始まった Sony Music Foundation スペシャル・コンサート・シリーズの6回目となる公演です。これまでに NY フィル、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）、パリ・シャトレ座、イ・ムジチ合奏団、2008年はピアノ発明 300 年を記念して「THE PIANO」三部作、「ハーモニー」と題して作曲家メシアン生誕 100 年を記念しての「時の終わりのための四重奏曲」、「メロディー」のウィーン・トーン・キュンストラ管弦楽団、そして「メロディー」のファジル・サイ（ピアニスト）と、世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してまいりました。

本年度は、フランス国立リヨン歌劇場音楽監督に就任したマエストロ、大野和士率いる同歌劇場来日公演に際し、リヨンで行われている教育プログラムの実施と、大野和士の解説を交えた公演を開催します。

【日程及び会場】

教育プログラム：2009年度4月以降、2～3箇所（予定）

公演：2009年11月2日（月）東急文化村オーチャードホール

【2】「Concert for KIDS～0才からのクラシック®
／3才からのクラシック®」の開催

【公演事業】

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1998年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

毎年20回程度開催されており、ほぼ毎回完売する人気のシリーズとなりました。出演者はピアノ、ピアノ・デュオ、ヴァイオリン、チェロ、トロンボーン、ハーモニカ、マリンバ、弦楽カルテットなど、企画主旨に賛同する多くの器楽奏者や室内楽アンサンブル、オーケストラのピックアップメンバー、オペラ歌手や童謡歌手など、場所や会場の規模に合わせ、さまざまな内容構成で開催しています。

【日程及び会場】2009年～2010年

5月2日（土）	[東京都]	ホテルニューオータニ（2公演）
6月13日（土）	[山形県]	伝国の杜
6月14日（日）	[山形県]	山形テルサ
6月20日（土）	[東京都]	サントリーホール 小ホール（2公演）
7月 5日（日）	[北海道]	たかすメロディーホール
7月 8日（水）	[東京都]	旧東京音楽学校奏楽堂
8月 2日（日）	[神奈川県]	青葉台 フィリアホール（2公演）
9月 5日（土）	[埼玉県]	朝霞市民会館
9月27日（日）	[宮城県]	多賀城市民会館
11月8日（日）	[新潟県]	黒崎市民会館
11月9日（月）	[新潟県]	新潟大学
11月28日（土）	[東京都]	なかのZERO 大ホール
3月20日（土）	[東京都]	ティアラこうとう
3月28日（日）	[埼玉県]	和光市文化センター

その他、

[東京都] HAKUJU HALL、[千葉県] ホテルニューオータニ幕張など、当財団主催公演、自治体主催公演含め数ヶ所、計20公演程度開催予定

【3】「0才まえのコンサート®ーママのおなかは特等席ー」の開催

【公演事業】

“人間の知能・情操は生まれるまえから育まれ得る”と言う前提のもとに、生の音楽演奏の場で、妊娠している母親が音楽体験することにより、深い感動と喜びがお腹のなかの赤ちゃんにも共感できるのではないか、という発想から企画されたユニークなコンサートです。1985年にスタート、現在までに150回以上、全国30カ所以上で開催しております。1995年から2003年まではピアニスト・岡崎ゆみが連続出演、以降は国内のトップアーティストを起用して開催しています。

ドイツを中心に活躍する天羽明恵(ソプラノ)、オペラ歌手として注目の高い林美智子(メゾ・ソプラノ)、東京都交響楽団首席奏者の古川展生(チェロ)、オーケストラとの共演やリサイタルなどで活躍している戸田弥生(ヴァイオリン)、邦楽界では次世代のトップとして活躍する藤原道山(尺八)と小宮瑞代(箏)、国内外で活躍するハープ・デュオ、篠崎史子・篠崎和子など、幅広く、質の高い演奏家と楽曲で企画しております。

このコンサートは、妊娠安定期(6カ月から9カ月)の妊婦さんのために、細心の注意を払った様々な工夫が凝らされています。奏者の出産・子育て経験談や作曲家にまつわるエピソードなど、リラックスできるトークを取り入れながら進行。またカップルや家族で外出しやすい土・日の午後に開催、そして専門家による解りやすいお話など、好評を博しています。来場者の大半が、お腹の中の赤ちゃんとおパパとママなのも大きな特徴です。

尚、近年は企業や自治体が主催する妊婦向けコンサートの企画制作を請け負うことも行っており、当財団が妊婦に向けたコンサートの老舗であることが社会的にも認知されていることは大きいと考えます。

【日程及び会場】2009年～2010年

6月27日(土) [東京都] HAKUJU HALL

9月12日(土) [東京都] HAKUJU HALL

3月20日(土) [東京都] ティアラこうとう 他全4公演予定

【4】Dream Seats プロジェクト

【公演事業】

Dream Seats は、NHK 交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団から年間10回の定期公演を各10席、小学校から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売し、子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の音楽会を安価に楽しんでもらうために提供して

いる企画です。オーケストラ公演に加えて、器楽やオペラ公演などもその都度、条件に合った公演を案内し、Dream Seats メンバーズには「子ども音楽新聞」を定期的に発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を事前に案内、音楽や作曲家に興味を持ってもらい、演奏会に出かける日までのモチベーションを高めることと、興味を持続させることを目的としています。

【5】ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「キッズ・プログラム」への企画協力 **【公演事業】**

【日程及び会場】

2009年5月3日～5日 東京国際フォーラム 及び周辺丸の内地区

2005年ゴールデンウィークに第1回がスタートし、クラシック音楽の祭典としては大きな規模で毎年恒例となったラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン。初年度はベートーヴェン、2006年は生誕250年を迎えるモーツァルト、2007年は「民族のハーモニー」、2008年は「シューベルトとウィーン」がテーマとなって開催、クラシック音楽界の大きな話題となった「ラ・フォル・ジュルネ～熱狂の日音楽祭」。入場者数も2007年には100万人を超える大きな音楽祭となっています。2009年は「バッハとヨーロッパ」をテーマに多くの作曲家へ多大な影響を与えたバッハの作品と影響を受けた作曲家の作品を特集して開催されます。2006年の公演より、音楽監督ルネ・マルタンの強い意向から子ども向けのコンサート、ワークショップを拡大することになり、協力要請がきたもので、2009年は内容、スケジュールともに例年以上に充実させ、キッズ・プログラムを企画します。

(2) “Great Artist Series” の開催 **【公演事業】**

第9回 国際オーボエコンクール・軽井沢関連事業として、世界各国から集結するコンクール審査員らによるコンサートを開催します。

【日程及び会場】 オーボエの新しい響き IV～THE OBOE-A New Approach IV

2009年10月17日（土） 軽井沢大賀ホール

【出演】 ハンスイェルク・シェレンベルガー、モーリス・ブルグ、ゴードン・ハント、デイヴィッド・シフリン、小畑善昭、古部賢一、霧生吉秀 他

3. 芸術家の研鑽に対する助成

(1) 第8回齋藤秀雄メモリアル基金賞

【特別事業】

2002 年度（平成 14 年度）に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902-1974）氏に因むものです。

2000 年 3 月 17 日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が 90 歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金（仮称）』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団理事長・大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。

齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968 円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾（指揮者）氏、堤剛（チェリスト）氏とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用、この基金の利息収入により「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。

当賞の内容は下記の通りです。

① 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

② 選考対象

- ・ 音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。
- ・ チェリストと指揮者を各々 1 年に 1 人顕彰することを原則とする。但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

③ 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で選考の上、受賞者を決定する。

④ 選考委員会

委員長：大賀 典雄

（指揮者・ソニー株式会社相談役・財団法人ソニー音楽芸術振興会理事長）

委員：小澤 征爾 氏（指揮者）

堤 剛 氏（チェリスト）

⑤ 賞

- ・ 楯

- ・賞金 総額 1,000 万円 (1 人 500 万円)
- ⑥ 顕彰時期 毎年 (時期不定期)
- ⑦ 主 催 : 財団法人ソニー音楽芸術振興会 (Sony Music Foundation)
特別協力 : 財団法人サイトウ・キネン財団
サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会

(2) フェローシップ・プログラム 【公演事業】

これから世界を目指す、または留学中・帰国後の若手演奏家たちに、演奏活動の場を提供し、よりよい音楽家となるための一助となるべく、各地で演奏会を開催します。また、全国の公共ホール、自治体、新聞社、テレビ局などと協力体制を持ちながら、地域の音楽文化の発展にも寄与することも目的としています。

4. 音楽、オペラ、舞踊等に関する講習会等の開催

(1) セミナーの開催 【一般事業】

世界的にも著名な音楽家・教育者を招いて、セミナーを開催します。
若手育成のための音楽教育プログラムであるとともに、日本の教育者たちにも学べる機会を与えることを目的とします。

5. その他、目的を達成するために必要な事業

(1) 「MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティー・コンサート」の開催 【公演事業】

毎年2回開催している本コンサート・シリーズは、2009年度は名古屋、東京で各1回ずつ行います。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する血液運搬車の購入・整備資金へと充てられるものです。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ていない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、一般の方が、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。

【第40回】名古屋公演
ジェームズ・ゴールウェイ (フルート)
2009年10月10日 (詳細未定)

会場：名古屋しらかわホール

主催：Sony Music Foundation/しらかわホール

後援：厚生労働省/日本赤十字社（予定）

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/御木本製薬株式会社】

【第41回】東京公演

ニューイヤークンサート

2010年1月12日 午後7時開演（午後6時30分開場）

会場：サントリーホール

ソリスト：未定

演奏：東京都交響楽団（指揮者未定）

主催：Sony Music Foundation

共催：東京都交響楽団

後援：厚生労働省/日本赤十字社（予定）

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/御木本製薬株式会社】

（以上）